

げんき通信

CKDのおはなし

CKDとは、慢性の腎臓疾患を意味する英語の略で、「慢性腎臓病」と訳されています。CKDはひとつの病名ではなく、腎機能が慢性的に低下していく複数の病気をまとめて表します。あまり耳慣れないかもしれませんが、成人の8人に1人は当てはまるともいわれており、新たな国民病として注目されています。

腎臓は老廃物の排泄という重要な役割を担っているため、不調が起るとさまざまなリスクが発生します。高血圧、糖尿病などの生活習慣病やメタボリックシンドロームとの関連も深く、誰でもかかる可能性があります。

CKDの初期には自覚症状がほとんどありませんが、進行に伴い、夜間尿(多尿)、だるさ、倦怠感、むくみ、貧血、息切れ、食欲低下などが現れてきます。これらの症状が出た時には、ある程度悪化している場合が多いので、体調変化に気をつけているだけでは早期発見は難しいといえます。腎臓はあるレベルまで悪くなってしまうと、自然に治ることはありません。また、狭心症や



早期に発見するには、定期的に健康診断を受けることがいちばんです。

診断がなされます。

生活習慣の中の危険因子…

肥満、運動不足、飲酒、喫煙、ストレスなどの生活習慣は、CKDを発症、また進行させる危険因子として大きく関与しています。

高齢の方、高血圧、糖尿病、肥満などの生活習慣病やメタボリックシンドロームがある、過去に心臓病や腎臓病になったことがある、家族に腎臓病の人がいる、健診などでたんぱく尿が見つかったことがある、タバコを吸っている、このような条件に該当する方は特に注意が必要です。

CKDを放置すると進行してしまい、心臓病や末期腎不全(人工透析)へとつながっていきませんが、生活習慣の改善や薬物療法等、早めの対応で進行を予防することができます。検査で異常を指摘されたら、自覚症状がなくても、早めに医療機関を受診してください。



《北茂安店：薬剤師/もりやま》

C O L U M N

げんきコラム

光線過敏症って…?



紫外線が強い季節ですが、予防策は万全ですか? 一般的な日焼け予防とは別に、注意が必要な貼り薬があります。貼っているだけでは何の問題もないのに、日光に長時間当たると、赤くなったりかぶれたりすることがあります。はがした後でも成分が皮膚に残るので、4週間は気をつけてください。薄い色の服は紫外線を通すので要注意です。もしものトラブルを避けるためにも、他の人に薬を譲らないでください。

処方せんはぜんぶ「くほ薬局」におまかせください



すべての病院・医院の処方せんを受けつけ責任を持って調剤いたします。

ご家族みなさんのかかりつけ薬局としてご利用ください

あなたのまちのくすり箱

くほ薬局

●県庁通り店 ☎23-4550

●中町店 ☎26-2817

●木原店 ☎24-2233

●中の小路店 ☎24-2882

●西与賀店 ☎22-2311

●医大通り店 ☎32-1133

●北茂安店 ☎0942-89-1777